



# 志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校  
平成29年度学校だより  
第2号  
平成29年5月1日発行



## 笑顔あふれる学校をめざして 受け継がれたバトン



新緑が目に見え、鮮やかな季節となりました。職員玄関では、若い夫婦が子育て奮闘中です。幸せを運んでくれるようでうれしいです。また、藤の花も満開です。

新年度を迎え1か月が経ちました。1年生を迎える会と親睦遠足で、4月を終えました。大きい学年が小さい学年の手を引いて、安全に楽しく歩き、グリーンスポーツセンターでは、遊びを通して異年齢の親睦を図りました。今後も仲のよい学校にしていきたいと考えています。

さて、4月23日の授業参観・PTA研修(講演会)・PTA総会には多くの皆様に来校いただきありがとうございました。小松健会長のもと、「DISCOVER ふるさと つながろう志楽」の活動方針を目指して、防災・安全、会員相互のコミュニケーション、地域連携を重点に取り組んでいただくことが確認されました。

また、京都府警察本部少年課、少年サポートセンター北部センターより、警部補秋保龍太郎様をお迎えし、「SNSと大麻の危険性」と題して、実際に起こっている問題を提示していただきながら、情報端末に潜む危険や子どもたちがSNS上のやり取りでどのようにいじめに発展していくのかを知ることができました。「知ると知らないでは大違い。」子どもを守る大人の責任の重さを感じました。学校だけでは、子どもたちを守れません。聞いていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

学校からは、本年度の学校教育目標「自ら学び、自分の可能性を切り拓く子」の育成、子どもの安全確保、教職員の勤務時間縮減の取組、小中一貫の取組についてお伝えさせていただきました。今年度も、学校経営方針を「楽しく学び、夢を志に高める学校」とし、子どもたちが「人と関わり、よりよい生き方を求め、役割を果たす」姿を高められるように、学校はご家庭や地域の皆様と手を携えて、人権尊重を基盤にし、愛情と信頼と期待で包み込みたいと考えています。教職員一同、「チーム志楽」で心をつなげてその実現に努めます。いつ、どこで、どんな困難に遭遇するか分からないのが人の世。たくましく生き抜く力を保護者・教職員・地域の方々と協働して育むことができますよう、どうぞよろしく願いいたします。この間、家庭訪問をお世話になっています。引き続き、保護者様の願いやお考え、お子様のことについてお聞かせいただくとともに、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

校長 村川 広美  
教職員 一同

日々に新たに・・・

☆

受け継がれたバトン

☆ 登校時や朝休みの姿がよく見られ、一年生を気遣う五・六年生の姿がよくなりました。おかげで、はじめは緊張した面持ちの一年生でしたが、笑顔が見られるようになりました。昨年度の五・六年生も面倒をよく見てくれ、すっかり上級生が下級生の面倒をみるといふバトンが受け継がれて、そんな高学年が頼りになる存在です。

☆ 親睦遠足でも、好奇心旺盛な一年生の手を引いて、忍耐強く優しく関わって歩かせてくれた六年生。また、歌を歌って長い道のりを楽しくしてくれてくれた四年生。掲示板には、全校から一年生へのお祝いメッセージが集まっています。人への「思い」は目に見えませんが、「思いやり」は目にとまり、心をなごませます。人を思ったり、人の役に立とうとしたりするとてもすてきな姿が多く見られます。児童会の今年のテーマ「笑顔があふれる志楽の子」を目指し、よいスタートがきれっています。

☆

感謝

☆ 志楽子育て支援協議会の役員会がありました。本校は、志楽地域の多くの団体の皆様から、子どもたちが心身ともに健やかに成長することを目指してご支援をいただいています。安全確保・農園活動・遊びの広場、学校行事の際の保育、また、地域における子育ての集い・・・等、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

☆

五年生作 俳句

☆ つくしんばカラオケできるマイクだね  
様々な形での子どもの表現を大切にしたいです。

